

# YMCA リフレッシュキャンプ



## 能登立山キズナキャンプ 8月9日(金)～12日(月・祝) 3泊4日

対象：輪島市在住の小3～6年生(震災前、在住者可)  
定員：40名 ＊定員を超えた場合は抽選となります。  
主管：公益財団法人 富山YMCA・一般財団法人 滋賀YMCA

## 能登立山フレンドシップキャンプ 8月18日(日)～20日(火) 2泊3日

対象：輪島市在住の小1～4年生(震災前、在住者可)  
定員：48名 ＊定員を超えた場合は抽選となります。  
主管：公益財団法人 富山YMCA・一般財団法人 滋賀YMCA

会場

## 国立立山青少年自然の家

富山県中新川郡立山町芦峯寺1 Tel 076-481-1321

集合・解散：輪島マリンタウン観光交流施設駐車 交通：貸し切りバス  
集合：8時50分／帰着：午後6時(予定)

参加無料



参加者全員にYMCAオリジナル  
キャンプTシャツをプレゼント!



申込  
方法

下記フォームまたはQRコードからお申し込みください。  
<https://forms.gle/GzjusyGU8PKEAwaMA>  
申込締切日：7月24日(水)



YMCAリフレッシュキャンプは  
日本YMCA能登半島地震支援募金をもとに  
実施されます。

日本YMCA同盟

公益財団法人 日本YMCA同盟 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2-11 Tel 03-5367-6640

後援：輪島市教育委員会  
公益社団法人 日本キャンプ協会

旅行取扱：一般財団法人 滋賀YMCA  
[ 滋賀県知事登録旅行業 第2-267号 ]  
旅行業務取扱管理者 久保田 展史

## 能登半島地震被災地支援リフレッシュキャンプ

今年1月1日、能登半島を襲った地震は大きな爪痕を残しました。地形的な特徴もあり、現在でもまだライフラインが復旧していないところやがれきの撤去もままならないところもあります。余震も頻発しており被災者、特に子どもたちの心に大きな影を残していると想像されます。地震への不安、将来への不安など、心の重みから少しでも解放される時を作ってあげたいと、YMCAではリフレッシュキャンプを企画しました。



### 能登立山キズナキャンプ

日程：2024年8月9日（金）～12日（月・祝）【3泊4日】

対象：輪島市在住の小学3年生～小学6年生（震災前、在住者可）

宿泊：国立立山青少年自然の家

内容：1日目 移動＝昼食＝周辺（とんとん広場）散策 夜：オープニング  
2日目 午前：立山の自然を学ぼう＝昼食＝クラフト 夜：星座観察  
3日目 午前：出発～室堂着＝自然観察＝下山 夜：カウンスルファイアー  
4日目 午前：まとめ＝昼食＝出発～帰郷



### 能登立山フレンドシップキャンプ

日程：2024年8月18日（日）～20日（火）【2泊3日】

対象：輪島市在住の小学1年生～小学4年生（震災前、在住者可）

宿泊：国立立山青少年自然の家

内容：1日目 移動＝昼食＝周辺（とんとん広場）散策 夜：オープニング  
2日目 午前：周辺自然探索＝昼食＝クラフト 夜：星座観察  
3日目 午前：まとめ＝昼食＝出発～帰郷

## 日本におけるYMCAキャンプの歩み

1920年、六甲山麓で最初のキャンプが行われました。大阪YMCAが少年たちのために試みた、松林の中での2週間の簡易天幕生活キャンプで、これが日本における最初のキャンプとなります。この活動はまたたく間に全国に広がっていき、現在では年間を通じておよそ22,000人の子どもたちが全国各地でYMCAキャンプを体験しています。そして2020年、YMCAはキャンプ100年を迎えました。

- 1920年（大正 9年） 大阪YMCAの少年部が六甲山東麓（南郷山）にて少年たちのために試みた簡易天幕生活キャンプが日本における最初のキャンプである。
- 1922年（大正11年） 日本YMCA同盟主催でG.S.パタソン氏及び鈴木栄吉氏によって中学生のための少年キャンプが日光中禅寺湖畔で行われた。（日本における中学生を対象とした最初の組織キャンプ）
- 1923年（大正12年） 東京YMCAが山中湖畔に、日本ではじめての組織キャンプ場を小林弥太郎氏の協力を得て開設。
- 1924年（大正13年） 横浜YMCAが、茅ヶ崎の海辺にて関東大震災救護事業で使われたテントを使用してキャンプを実施。
- 1925年（大正14年） 大阪YMCAが堺市高師浜にて日本初の海浜での組織キャンプ（17日間）を実施。当時としてはもっとも新しい米国の様式を取り入れた組織的な固定キャンプだった。
- 1929年（昭和 4年） 世界YMCA主催で雲仙にて「国際年長少年キャンプ」が行われ各国の少年代表が集まり日本における最初の国際キャンプとなった。
- 1931年（昭和 6年） 東京YMCAが山中湖キャンプ場にて日本ではじめて家族キャンプを実施。
- 1932年（昭和 7年） 東京YMCAが野尻湖畔にて少年長期キャンプ「野尻学荘」を開始。（日本における最初の長期キャンプ）
- 1950年（昭和25年） 神戸YMCA余島キャンプ場が開設。また、ここで1953年には日本で最初の「肢体不自由児キャンプ」を実施。
- 1955年（昭和30年） 京都YMCA琵琶湖畔（佐波江）にて第1回肢体不自由児療育キャンプを実施。
- 1996年（平成19年） 新たな野外教育キャンプ施設として、横浜YMCAが富士山YMCAグローバルエコビレッジを開設。
- 2007年（平成20年） 日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘に新しい野外教育施設ネイチャーセンターがオープン。
- 2011年（平成23年） 東日本大震災において被災した子どもたちとその家族、発達障がい児を対象とした心身リフレッシュキャンプを企業からの支援も得て延べ人数1万5千人を対象に全国で展開。ターフケア・キャンプも継続して実施している。

## YMCAとは

YMCAとは、Young Men's Christian Associationの略称で、キリスト教を基盤とする非営利公益団体です。世界120の国と地域で、およそ6500万人がYMCAの活動に関わり、日本国内では「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに、地域や人々のニーズに合わせた多様なプログラムを提供しています。

YMCAは1844年、産業革命下のイギリス・ロンドンで、同世代の仲間たちの人格的成長や生活改善を願うジョージ・ウィリアムズ（1821～1905）ら12人の青年たちによって組織されました。

日本最初のYMCAは1880年（明治13年）、東京で創設。現在では沖縄から北海道まで、約14万人の会員とともに活動しています。

